

平成25年1月

Vol.4

まちづくりの
即戦力!



マスコット
くにじ君

椿くにじ プロフィール

1960年7月4日生。趣味は、茶道・能・旅。椿建築デザイン研究所代表取締役。東京建築士会会員。東京商工会議所北支部会員。東京青年会議所北区委員会元委員長。茶道裏千家淡交会青年部全国委員会元委員長。平成23年4月北区議会議員二期目当選。平成24年度所属は、健康福祉委員会、地域開発特別委員会、都市景観づくり審議会。

東京都北区議会議員

椿くにじ

<政治家・建築家>

TSUBAKI
relationship
NEWS



2011年3月11日に発生した東日本大震災からまもなく二年が経とうとしております。先の衆議院選挙で民主党から自民党へ3年3カ月ぶりに政権が戻りました。遅れていた復興事業の本格的な実行を心から期待するとともに、政治の安定と実行力によって経済再生への大きな弾みとなることを強く望みます。この北区においても十条まちづくりはもとより公共施設再配置、少子高齢化対策、扶助費問題、財政再建など課題が山積しております。2013年さらなる飛躍の年となりますよう結果を残せる実行力のある議員として日々活動して参ります。

2012年8月31日に東京都から「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化特区制度の先行実施地区として十条駅西地区が選定されました。本地区は、北側は環状七号線、東側はJR埼京線、南側は板橋区、西側は住宅市街地総合整備事業を実施している上十条三・四丁目地区に囲まれた地区(上十条二丁目、十条仲原一・二丁目全域)で、面積は約26haです。

■木密地域不燃化10年プロジェクト決定!

平成24年現在の本地区の建物総数は1735棟を数え、不燃化率は都方式で41.4%となっております。旧耐震基準以前に建築された建物は1079棟で、全建築物の62.2%を占めているほか、未接道となっている建築物は41棟で、全建築物の

24%、2項道路を前面道路としている建築物は1069棟で、全建築物の61.6%、更に未接道や接道が2m未満の路地状敷地となった既存不適格の建築物は83棟で、全建築物の4.8%を占めています。旧耐震基準以前に建築された建築物のなかでも、木造の建築物は900棟を数え、その割合は全建築物の51.9%にあたります。

整備目標として、不燃領域率を現行の47%から70%へ、老朽木造建物棟数率を現行の52%から40%へ。十条駅西口開発と補助73号線整備を含めて、地区全体における防災性を向上させるため、地区計画策定も検討して面的な不燃化促進を図るプロジェクトがスタートします。

燃え広がらない街の実現に向けて、補助73号線が特定整備路線事業として決定しました。今後は事業を加速するため特別支援策として、関係者への意向調査、相談窓口の設置、移転先確保、生活再建資金面など様々なサポートと共に事業を展開していく予定です。

■補助73号線特定整備路線事業決定!

燃え広がらない街の実現に向けて、補助73号線が特定整備路線事業として決定しました。今後は事業を加速するため特別支援策として、関係者への意向調査、相談窓口の設置、移転先確保、生活再建資金面など様々なサポートと共に事業を展開していく予定です。

■十条駅西口地区再開発事業都市計画決定!!

2012年10月に「十条駅西口地区第一種市街地再開発事業」の都市計画決定が発表になりました。高さ146m37階の北区で初めての超高層ビルが現在計画されており、2013年3月「事業計画決定」を受けて、本組合設立に向けて取り組んでおります。この事業は今後の十条駅付近の鉄道立体交差事業進展にも大きく影響してきますので、地元地域の皆様と共に話し合いを重ね、さらに住みやすいまち十条となりますよう活動して参ります。



西口駅開発イメージパース



建物構造別分布図

- 先行実施地区
- 木造
- 防火造
- 準耐火造
- 耐火造